

令和2年度活動計画

ニュース編集委員会

ニュース編集委員長 岩田展幸

1. 原稿依頼とニュース発送までの流れ(通常のニュース内容であれば)

		MRS-Jニュース 発送までの流れ			
No.1	2/20発送	30日	10日	5日	
	<==	1/20印刷所	<==	1/10初稿ゲラ修正(事務局)	<== 1/05校正(清水)
No.2	7/20発送	10日	10日	5日	
	<==	7/10印刷所	<==	6/30初稿ゲラ修正(事務局)	<== 6/25校正(清水)
No.3	10/10発送	30日	10日	5日	
	<==	9/10印刷所	<==	8/31初稿ゲラ修正(事務局)	<== 8/25校正(清水)
No.4	11/20発送	30日	10日	5日	
	<==	10/20印刷所	<==	10/10初稿ゲラ修正(事務局)	<== 10/05校正(清水)

までの流れ 20200601

10日	10日	5日	35日
<== 12/25修正原稿 ♂	<== 12/15修正 ♂(事務局)	<== 12/10原稿 ♂	<== 11/05原稿依頼
10日	10日	5日	25日
<== 6/20修正原稿 ♂	<== 6/10修正 ♂(事務局)	<== 6/5原稿 ♂	<== 5/25原稿依頼
10日	10日	5日	30日
<== 8/15修正原稿 ♂	<== 8/5修正 ♂(事務局)	<== 7/31原稿 ♂	<== 7/01原稿依頼
10日	10日	5日	35日
<== 9/25修正原稿 ♂	<== 9/15修正 ♂(事務局)	<== 9/10原稿 ♂	<== 8/05原稿依頼

2. 32-No.3号 掲載内容(案)

- ・A2版ポスター形式で制作 検討中
- ・表面(A2):「MRM2020アナウンス」「意義・特徴」「プレナリースピーカー」
- ・裏面(A2):「日本MRS年次大会」「新刊紹介」「ご案内」

MRM2019 チュートリアル動画配信 (会員向けサービス)

広報・情報委員長長 青木学聡

- MRS-J 会員向けページ (<https://www.mrs-j.org/member/db/info.php>) から「動画情報」を選択

MRM2019 Movies

会員情報 →

お知らせ →

登録情報 →

会費情報 →

年次大会 →

動画情報 →

パスワード変更 →

Logout

MRM2019 チュートリアル動画

- プレゼンテーション資料を希望される方は、[申込フォーム](#)よりお申込み下さい。有償にて配布いたします。(1冊 2,500円 A4/156頁:送料込み)

MRM2019 Tutorial

Tutorial Theme-1

第一原理計算でなにがわかるのか

神谷利夫

東京工業大学



MRM2019 チュートリアル動画配信 (会員向けサービス)

- **第一原理計算でなにがわかるのか**
神谷利夫 (東京工業大学)
- **スパースモデリングの基礎とマテリアルズインフォマティクスへの展開**
五十嵐康彦 (東京大学)
- **機械学習の予測性能とモデル解釈性の使い分け**
岩崎悠真 (日本電気株式会社)
- **30分でわかる！ J-PARC中性子・ミュオン利用のはじめ方**
大石一城 (総合科学研究機構)
- **放射光の応用研究の実際とSPring-8の利用について**
木下豊彦 (高輝度光科学研究センター)
- **量子ビーム計測と機械学習の融合による物質・材料研究の新潮流**
上野哲朗 (量子科学技術研究開発機構)

(実施計画)

1. 第5回 全国高専生サミット 内優秀発表審査にゲスト審査員派遣
場所: 鶴岡工業高等専門学校(山形県鶴岡市井岡字沢田104)
開催日: 2020年9月予定(2泊3日)

ゲスト審査員として、伊熊先生に、MRS-Jの代表として出席いただく予定。
優秀発表者を第30回日本MRS年次大会に招待し、口頭発表を依頼する予定。

2. 第5回全国高専生サミット(第一ブロック)において、加納先生を中心としたスタッフによる高専生向け材料科学WSを行う。
3. 第30回 日本MRS年次大会 高専シンポジウム開催
連携推進委員会メンバーを中心に、2件の高専シンポジウムを企画・運営する予定。
4. (新)申請中である子ども夢基金が採択された場合は、鈴鹿、大分でもWSを開催予定である。MRS-J大実験室として、鈴鹿高専(第三ブロック)、大分高専(第五ブロック)と連携して会場確保、参加者募集、当日の運営等を進めていく予定。

国立高専機構—日本MRS連携推進委員会

(予算計画)

- ◆鶴岡開催の高専生サミット優秀 発表ゲスト審査員派遣。
- ◆鶴岡開催の高専生サミット(+材料科学WS) 実験室の開催経費

前年度と同じ開催場所、開催規模を予定しているので、上記イベントの費用として前年度実績と同じ¥160,000-の予算計上をお願いしたい。

- ◆優秀発表者の年次大会招待経費(学生と引率教員(2~3高専)の旅費と宿泊費)シンポジウム助成金で賄う予定。

令和2年度活動計画

IUMRS対応委員会

IUMRS対応委員長 松下伸広

1. IUMRS関連会議の開催状況・予定

	ICAM	ICEM	ICA	ICYRAM
2019年	ニース (フランス)		パース (オーストラリア)	
2020年		一年延期 8/30-9/3 Foz do Iguacu (ブラジル)	延期 2021年2月予定 10/27-30 チェンマイ (タイ)	中止 EMRSとして ICYRAM2024 を主催 9/18-20 ワルシャワ (ポーランド)
2021年	5/16-21 カンクーン (メキシコ)	8/29-9/2 Foz do Iguacu (ブラジル)	2月 チェンマイ(タイ) 10/3-8 チェジュ島(韓国)	
2022年		中国	インドネシア	8/1-4 福岡 (日本)
2023年	シンガポール			

2. ICYRAM2022準備状況(白谷副会長)

IUMRS-ICYRAM2022 8/1-8/4/2022, Kyushu University, Fukuoka, Japan

1) Mission:

In 2012 the International Union of Materials Research Societies (IUMRS) launched the Global Materials Network (GMN). As an inaugural meeting of the GMN, IUMRS created a new conference designed especially with young researchers in mind, the International Conference of Young Researchers on Advanced Materials (ICYRAM). The mission of ICYRAM is to provide a platform for researchers up to 15 years post-PhD to present technical findings of their research, to network within the international community of other young researchers, and to increase the breadth of their general materials-based knowledge. ICYRAM2022, the 6th edition of ICYRAM, will build on the original mission by providing a fair and equitable event for all young researcher's to meet, discuss and network in a safe and welcoming environment. Whether they be specialized materials researchers or those who utilize and apply materials to their R&D – ICYRAM2022 welcomes all.

2)Conference Chair ICYRAM2020 長島一樹 准教授(九州大学先導物質化学研究所)
LOC: 鎌滝晋礼 助教(九州大学), 久保田雄太 助教(東工大), 高原 茉莉 助教(北九州高専), 伊藤 滋啓 助教(鶴岡高専)

Adviser: 高原淳(九州大学先導物質化学研究所) 白谷正治(九州大学)
松下伸広(東工大), 佐藤貴哉(鶴岡高専)

3) Organizing Committee Meetings : #1 2019/9/12, #2 2020/4/15

1. Venue

Kyushu University School of Medicine Centennial Hall
8 minutes on foot from "Maidashi-Kyudaibyoinmae"
Station (Subway Hakozaki Line)

1階

平面図



Main Hall: 568 Seats

Hall 1: 108 Seats

Hall 2: 108 Seats

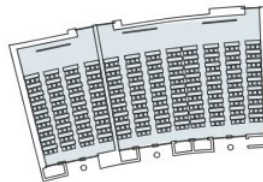
Hall 3: 108 Seats

3 rooms: 30 seats

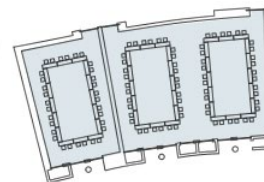
Poster at Lobby 100 Posters

Many class rooms are available
In the Campus.

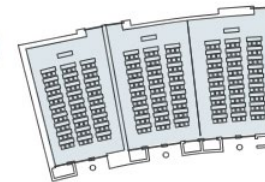
例1



例2

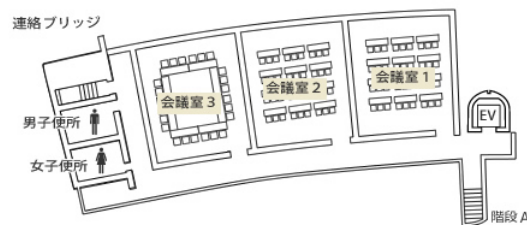


例3



2階

平面図



ICYRAM2022@Fukuokaに関するイベント Organizing Committee Meetin@2020/4/15

以下の案から抜粋または、融合するようなイベントの開催を目指す

1. アカデミックポストを獲得するには。

各分野の活躍される若手研究者数名で、どのようなアカデミックポスト(キャリアデザイン)を獲得してきたのか、どのようなところがポイントだったか、などを話してもらおう。(国別、分野別)

2. 論文を書くには、アクセプトさせるには。

各分野の活躍される若手研究者数名に、どのように論文を書くための準備しているのか。アクセプトをもぎ取るためのやっていることなどを話してもらおう。

3. Research Gateの活用

関心ある人をフォローし合い、若手同士の繋がりを作るきっかけとする。登録の際に Research GateのIDを入力してもらい、HPのプログラムに発表者の ResearchGateへのリンクを貼る。

4. ビジネス向けチャット『Slack』の活用

上記のシンポ(orパネルディスカッション)やplenaryなどの講演の時に聴衆参加型講演にするために、Slackを活用し、講演中聴衆からチャット形式で質問や意見を入力してもらおう。そして、司会者が質疑の時にここから講演者に質問してもらおう。

5. 若手同士のグループワーク 会期中、またはシンポの中で若手同士のグループを作り、質疑や議論をする。

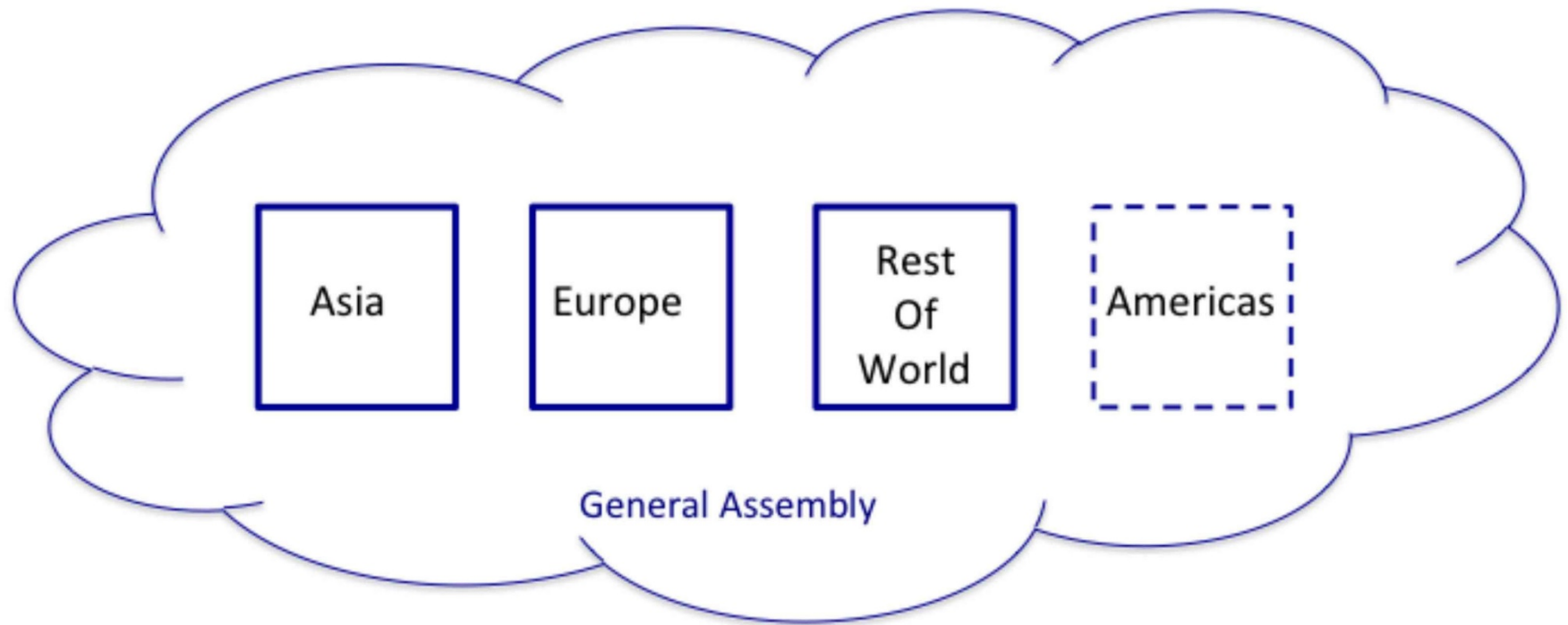
IUMRS予算の課題

顧問 岸本直樹

1. Financial supports for young researchers' attendance at IUMRS meetings:
ICYRAM 2022 (MRS-J) and 2024 (E-MRS): \$ 10,000-
2. IUMRS 30th publication expenses: \$ 10,000-.
3. IUMRS Website expenses: \$ 30,000 +10,000-
Rental server, Webmaster, Copyright, with sharing fees and labors.
4. Support for unforeseen necessary travels of EC Officers/Commission members: \$ 3,000-.
5. IUMRS-Sg account cost (?): donation? \$ 3,000~4,000

IUMRS-Sg株式会社の維持コスト(税理士、法人税)がかかることが判明。

令和2年度活動計画



E-MRS

BP 20 - 67037 Strasbourg Cedex 2 – France - tel: + 33 3 88 10 65 43 - emrs@european-mrs.com
BP 20 - 67037 Strasbourg Cedex 2 – France - tel: + 33 3 88 10 65 43 - www.european-mrs.com - emrs@european-mrs.com

TMRSJ休刊後の代替サービスについて

TMRSJ代替サービスについて

編集委員会 執行幹事 有沢俊一

TMRSJは日本MRSの体力では維持が困難で、これまで休刊を検討してきた。休刊後の日本MRS会員向けサービスの低下を防ぐため、下記を提案する。

1. MRM国際会議のチュートリアルを撮影した動画を会員が閲覧できるようにする。
MRM2019分からスタートする。
2. 日本MRSニュースのより一層の充実を図る。
3. “MRS-J Bulletin”を毎年オンライン刊行する。年次大会奨励賞に応募する者は発表申し込み時にアブストラクトとは別途、英文Digest2ページを提出することとし、奨励賞を受賞した者のDigestをまとめて“MRS-J Bulletin”のコンテンツとする。

※3は会員サービスのみならず、日本学会会議の協力学術研究団体の指定条件を維持する意味もある。

MRM2020、2021開催について

Website: <http://mrm2020.jmru.org>

MRS-J
The Materials Research Society of Japan

MRS-J
The Materials Research Society of Japan

MATERIALS RESEARCH MEETING 2020



延期

MATERIALS INNOVATION FOR SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

DOWNLOAD FLYER

ABOUT CONFERENCE
with Japanese Language

CALL FOR SYMPOSIA

Important Date (tentative):

Abstract Submission Deadline	31-May-2020
Registration Site Opens	15-Jul-2020
Early-bird Registration Deadline	15-Aug-2020
Regular Registration Deadline	10-Nov-2020
On-site Registration	On and after 11-Nov-2020

Early-bird Registration Fee:

Regular Member JPY 50,000
Student Member JPY 25,000

MRS-J
The Materials Research Society of Japan

開催要領

- ・ 基調講演 (Plenary) : 国内外の第一線の研究者による (6件)
- ・ シンポジウム (テーマごとに約40件) : 各シンポジウムは口頭ならびにポスターセッションから構成。約40のテーマは、約10のクラスター (3から5の類似シンポジウムの集合体) に分類。
- ・ クラスター合同セッション : クラスターごとにクラスター基調講演 (Cluster Keynote) 約30件を含む全体会議のセッションを開催。
- ・ フォーラム (日本語) : 本学会中のコンテンツをより深く理解するための講義。
- ・ フォーラム (日本語) : 日本の材料研究の現状と課題・その解決の糸口を探るための討論の場。
- ・ 企業展示 : 先進材料に関する技術動向やサービスならびに製品紹介のプレゼンテーション、研究開発・教育に関する情報提供。
- ・ 講演総数 (目標) は約2,000件、そのうち4分の1以上は海外からの参加者を見込。

延期

斜体

PACIFICO Yokohama North

ユートリアル (日本語または英語)

Opening in April 2020

PACIFICO YOKOHAMA NORTH

OPEN 2020

MRM2020、2021開催について

MRM2020の開催形態、MRM2021の開催について議論した結果、以下の実施案が第4回MRM2020企画委員会(6月13日開催)で承認された。

(1) MRM2020は延期とし、MRM2021として2021年12月12日～17日(12日は準備日)にパシフィコ横浜で開催する。

(2) 2020年はMRM2021の成功に向けた準備期間と位置づけ、MRMフォーラム(仮称)をオンライン開催する。そのターゲットは国内向けとし、次のイベントを実施する。

◆ MRS-J会員、学生、企業技術者向けのチュートリアル(英語での開催を可とし、海外の講師の場合は時差を考慮した時間帯に設定する)

◆各分野のトップランナー、国の政策責任者によるフォーラム(MRM2019フォーラムに続く内容)

◆MRM2020で提案されたシンポジウムの中で、2020年12月におけるシンポジウム開催を希望するシンポジウム

◆その他、学生(高校生、高専生も含む)、学校教員、研究者の啓蒙イベント

以上を6月20日開催の実行委員会で説明・提案し、了承を得たのちに速やかにMRMフォーラム2020とMRM2021の企画に入る。

第30回年次大会開催について

シンポジウム一覧(全16件 うち国際シンポジウム4件)

オンライン 開催	No.	区分	シンポジウム名	担当	姓	名	所属
○	A		特徴的な結晶構造・電子状態を有する遷移金属化合物の合成・評価と機能開拓	代表・連絡	山田	幾也	大阪府立大学
○	B		先進機能性酸化材料-作製プロセスおよび物性評価-	代表	永村	直佳	物質・材料研究機構
				連絡	鯉田	崇	産業技術総合研究所
○	C	国際	Function Harmonized Materials - Focused on Interfaces and grain-boundaries of Thin Films and Nanocomposites	代表	中村	吉伸	東京大学
				連絡	遠藤	民生	ジャパンアドバンストケミカルズ
				連絡	金子	智	神奈川県立産業技術総合研究所
				連絡	パオロ	メレ	芝浦工業大学
○	D		カーボン系ナノ材料	代表・連絡	青木	伸之	千葉大学
				連絡	緒方	啓典	法政大学
○	E		計算機シミュレーションによる先端材料の解析・機能創成	代表	吉矢	真人	大阪大学
				連絡	大場	史康	東京工業大学
				連絡	Fisher	Craig A. J.	ファインセラミックスセンター
○	F	国際	イオンビームを利用した革新的材料創製	代表	雨倉	宏	物質・材料研究機構
				連絡	安田	和弘	九州大学
○	G		マテリアルズ・フロンティア	代表・連絡	伊藤	建	東海大学
				連絡	岡村	陽介	東海大学
○	H		エコものづくりセクション	代表	岡部	敏弘	神奈川大学
				連絡	小川	和彦	島根職業能力開発短期大学校
				連絡	嶽本	あゆみ	沖縄工業高等専門学校

第30回年次大会開催について

シンポジウム一覧(全16件 うち国際シンポジウム4件)

オンライン 開催	No.	区分	シンポジウム名	担当	姓	名	所属
○	I		スマート社会・スマートライフのためのバイオセンサ・バイオ燃料電池	代表	四反田	功	東京理科大学
				連絡	辻村	清也	筑波大学
○	J	国際	界面におけるナノバイオテクノロジー	代表	田中	賢	九州大学
				連絡	松田	直樹	産業技術総合研究所
○	K	国際	プラズマライフサイエンス	代表	呉	準席	大阪市立大学
				連絡	白谷	正治	九州大学
○	L		有機イオントロニクス-持続可能な未来に向けて-	代表	馬場	暁	新潟大学
				連絡	梶井	博武	大阪大学
				連絡	パンディー (Pandey)	シャム スディル (Shyam Sudhir)	九州工業大学
○	M		ソフトマテリアルの科学技術: 高分子を基盤とした多様な構造、性質、そして機能	代表・連絡	田中	穰	福井大学
○	N		先導的スマートインターフェースの確立	代表	桑折	道済	千葉大学
				連絡	檜垣	勇次	大分大学
				連絡	増田	造	東京大学
○	O		バイオ・先端材料関連研究シンポジウム	代表	兼松	秀行	鈴鹿高専
				連絡	高原	茉莉	北九州高専
				連絡	斎藤	菜摘	鶴岡高専
○	P		社会実装材料研究シンポジウム	代表	松本	佳久	大分高専
				連絡	正村	亮	鶴岡高専

オンライン開催可否についてのアンケート集計結果: 16シンポジウムすべて開催可能

第30回年次大会開催について

★開催方法:オンライン開催(パシフィコ横浜内10会場)

パシフィコ側より今回(MRMが中止になった場合に)発生しうる会場キャンセル料を請求しない代わりに、

- ・今年度オンライン開催となってもパシフィコの会場を使用する
- ・次年度年次大会(MRM)の会場をパシフィコとする ことが条件として提示された。

年次大会としては、MRMが中止を決定し通常開催ができない事態であっても、
オンラインにて開催する方向で進める。

また、その際に使用する会場はパシフィコとする。

具体的な方法については今後検討する。

★奨励賞申請者について

- ・2ページの要旨も提出する必要があること
- ・受賞者の要旨をまとめてMRS-J BulletinとしてOn-line出版する予定であること
(TMRS-J休止の流れを受けて)